

令和3年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	平野区
学 校 名	加美東小学校
学校長名	奥 雅裕

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・加美東小学校では、第6学年 62名

令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語については、全国・大阪市平均を下回ったが、その差は数ポイントとなっており、年々縮小傾向にある。算数については、全国・大阪市平均とほぼ同じ結果であった。無回答率については、国語・算数ともに全国・大阪市より少なく、最後まであきらめずに取り組んだ児童が多かったことを示している。授業では意欲的に取り組む児童が多く落ち着いた学習環境となっているが、自主学習や家庭学習に向かう意欲や姿勢については、向上の余地があり、既習内容をしっかりと定着させ、様々な場面で活用していく力を育成していくことが課題である。「主体的・対話的で深い学び」を推進していく上で、意欲的に学習できる児童を育成していくことは、まさに「社会に向かう力」の育成につながる。見えてきた課題を真摯に受けとめ、今後も粘り強く取り組んでいくことが大切である。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

これまで課題であった漢字については、学校全体で「漢字王」に取り組むなど、漢字の意味を正しく理解した上で使うことができるよう丁寧に指導してきたことが、成果として表れてきている。今回の結果から、児童につけたい力は次の3点である。…①「目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見つける」②「目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する」③「自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える」これらの課題を意識した授業の工夫として、目的や意図に応じた活動を実践し、自分の考えの理由を明確にしなが話し合う・伝える、自分の言葉でまとめて書く、といった活動を取り入れ、繰り返し指導を行っていくことが重要である。

〔算数〕

これまで習熟度別少人数授業やIT授業等、個に応じた指導に取り組んできた成果もあり、今年度の結果については、全国・大阪市平均に達することができた。とりわけ、本校の課題であった、算数問題における記述形式の正答率が大きく改善し、全国・大阪市平均を上回る結果となった。場面の状況に応じて数理的に捉え、得られた結果から数学的に判断し、問われている内容に対する確に表現・処理することができるよう、繰り返し指導を行ってきた成果である。一方で、「数と計算」や「測定」の領域については、「道のり・時間・速さ」を求める基本的な計算方法は習得できているが、ある条件下での比較など、応用問題でつまづく傾向が見られた。基礎基本を定着させ、応用の場面でも活用できるよう、指導の充実を図っていく必要がある。

質問紙調査より

これまでの調査において、全国・大阪市平均を下回り、本校児童の課題であった自己肯定感に関する質問項目「自分には、よいところがあると思いますか」については、肯定的な回答が81.4%という結果を示し、全国・大阪市平均を大きく上回った。さらに、「将来の夢や目標を持っていますか」については、85.7%となり、こちらも全国・大阪市平均を上回る結果であった。また、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」については、全国・大阪市平均には及ばないものの、93.7%と高い結果を示している。

本校として、研究主題に沿って自己肯定感を高めるためにキャリア教育を意識した授業改革に取り組んできた成果が、児童の意識として明確に表れている。魅力ある図書室を活用した読書活動の充実や「がんばる先生支援事業」を基に取り組んでいるグループ学習活動の充実は、児童のワクワク感や学び合いによる新たな発見・気づきを大切にしたい取り組みである。今後も良質な仲間づくりとともに、本物に触れ合い、子どもたち自身が達成感や充実感を実感できることを大切にしたい授業・指導の探求に取り組んでいく。

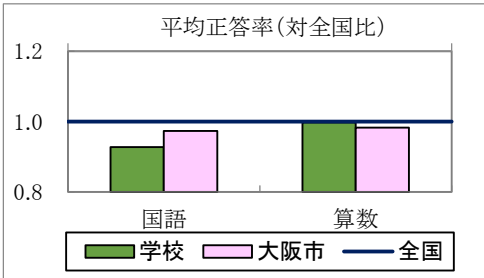
今後の取組(アクションプラン)

昨年度より本格実施された学習指導要領の趣旨を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」の推進に取り組んできた。本校の研究主題である「知的好奇心を高める授業の探求 ～キャリア教育 自己肯定感を高めるために～」に基づいて、これまで「がんばる先生支援事業」「校長経営戦略予算」を獲得し、図書室の充実やアウトドア学習としての中庭の整備、テーマ性のあるトイレの改修など、魅力ある学校づくりの一環としてハード面の充実に取り組んできた。また、コロナ禍においても感染状況を踏まえ、安全対策を徹底しながら、本物に触れあうための校外学習体験（図書館・美術館等見学、ホールでの音楽鑑賞会）、トップアスリートや芸術家を招いての出前授業にも取り組んできた。また、日々の授業においては、いかに「深い学び」につなげていくかを大切に、授業改革にも取り組んできた。今後は、困難な課題に対しても主体的に取り組んでいこうとする児童の育成を目指しながら、日常の授業と家庭学習を有機的に結合させる研究にも取り組んでいく。

【 全体の概要 】

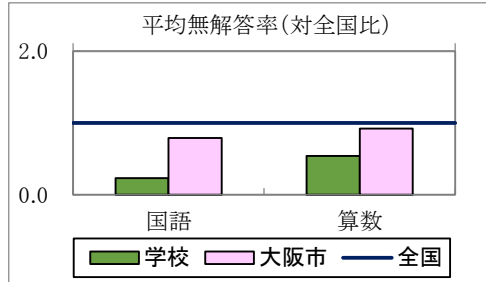
平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	60.0	70.0
大阪市	63.0	69.0
全国	64.7	70.2



平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	1.0	1.4
大阪市	3.4	2.4
全国	4.3	2.6



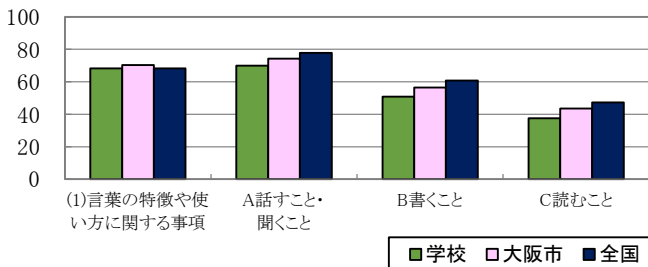
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	6	68.3	70.3	68.3
(2)情報の扱い方に関する事項	0	0.0	0.0	0.0
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	0.0	0.0	0.0
A 話すこと・聞くこと	3	69.9	74.3	77.8
B 書くこと	2	50.8	56.4	60.7
C 読むこと	3	37.6	43.5	47.2

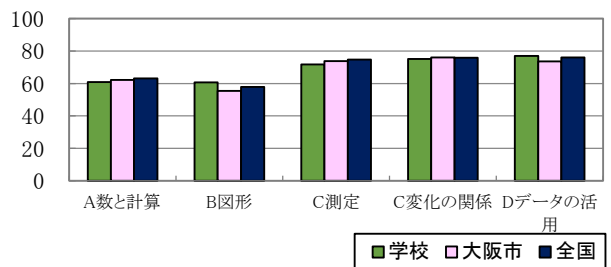
【 算 数 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	4	60.8	62.2	63.1
B 図形	3	60.6	55.4	57.9
C 測定	3	71.7	73.8	74.8
C 変化と関係	3	75.0	76.0	75.9
D データの活用	5	77.0	73.6	76.0

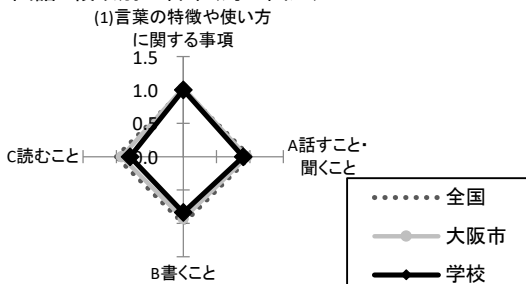
国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



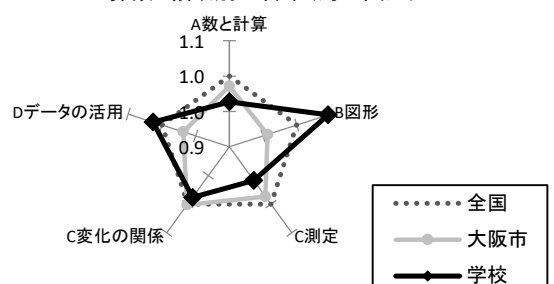
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 領域別正答率(対全国比)



算数 領域別正答率(対全国比)



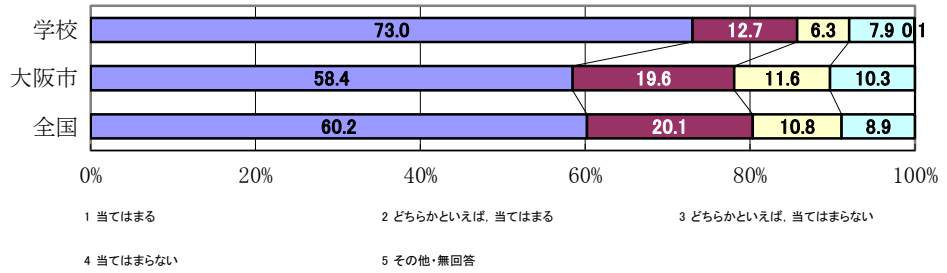
児童質問紙より

□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8

質問番号
質問事項

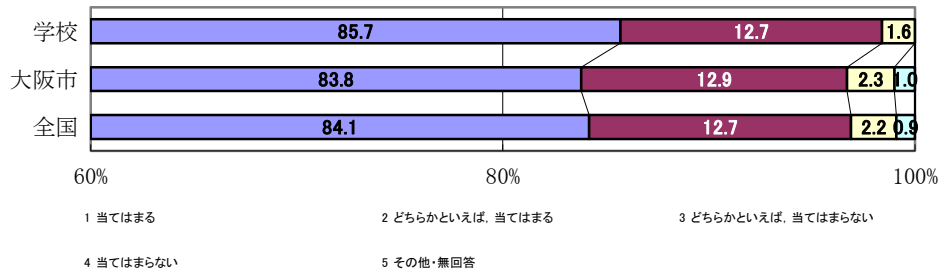
7

将来の夢や目標を持っていますか



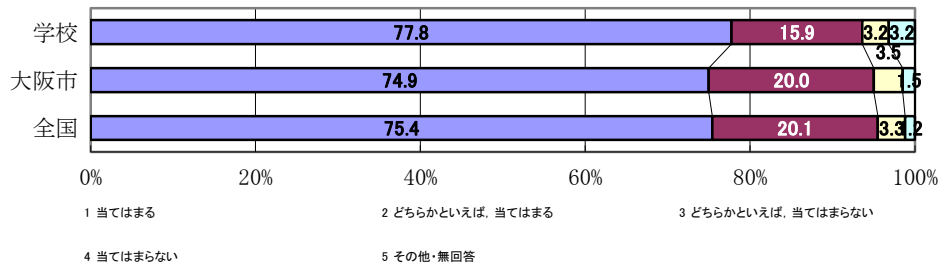
11

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



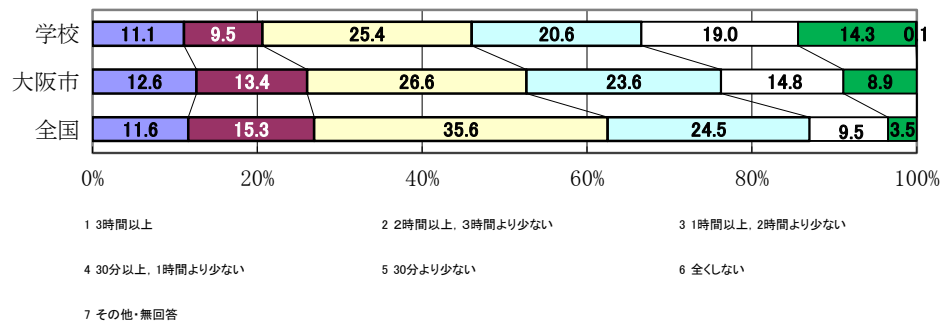
12

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



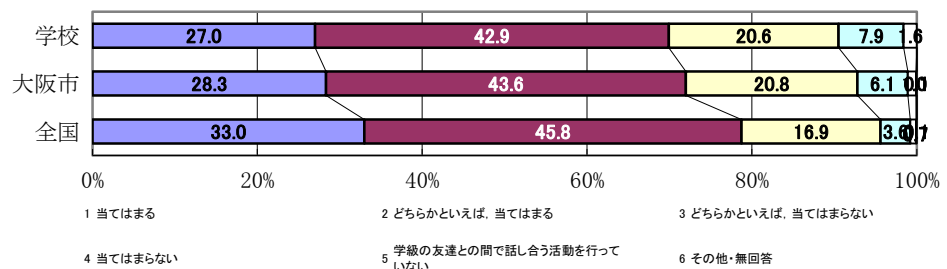
18

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含まれます)



37

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか



学校質問紙より

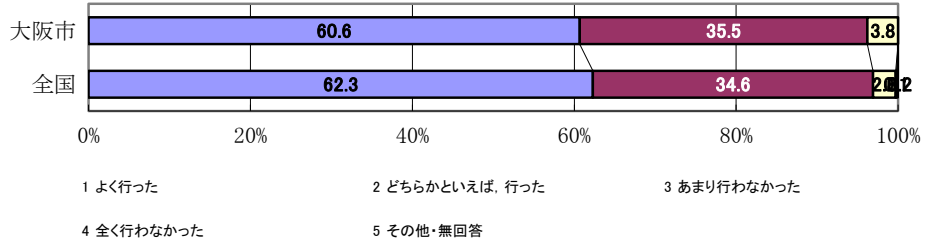
□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8

質問番号
質問事項

10

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習規律(他の人が話をしている時はしっかりと聞く、授業開始のチャイムを守るなど)を維持しましたか

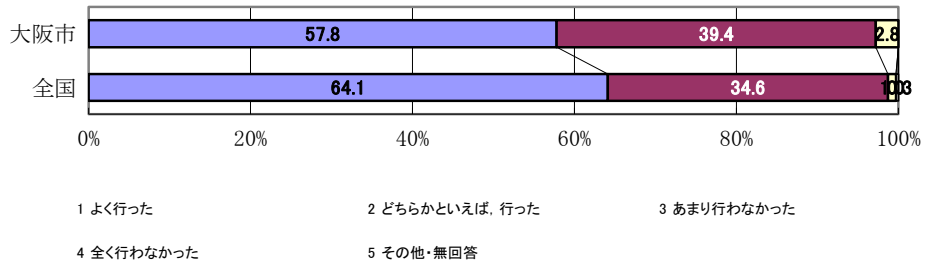
学校 「よく行った」を選択



11

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行いましたか

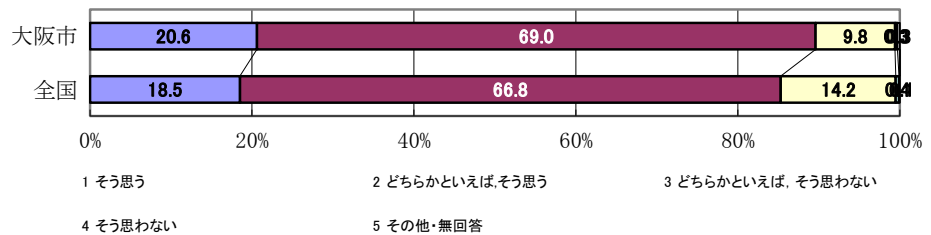
学校 「よく行った」を選択



29

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができますか

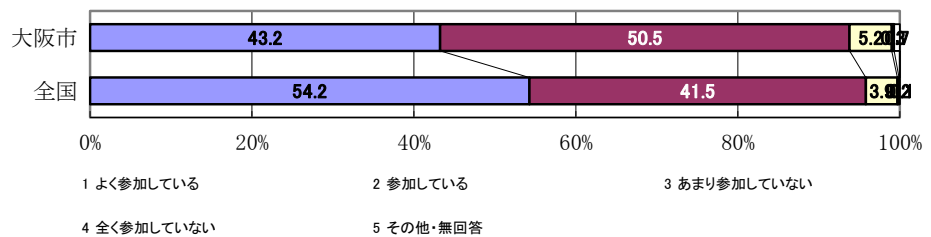
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



82

保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか

学校 「よく参加している」を選択



86

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか(国語/算数共通)

学校 「よく行った」を選択

